

# 施工後の注意事項

## 1 今までよりも、厚めに残して削蹄してください。

施工直後はコンクリートのエッジが必要以上に鋭く、過剰磨耗になる傾向にあります。

普段の削蹄で仕上げる長さよりも、厚く仕上げてください。(蹄尖厚 6mm 以上)

過削は今までよりも危険性が増します。

施工の種類にもよりますが、磨耗の程度は最初の 6 ヶ月で半減、その後徐々に回復していきます。



## 2 通路の乾燥にご注意ください。必要であれば散水してください。



硬く乾燥した糞が溝を埋めてしまっている。

これでは、コンクリート溝でもゴムマット溝でもすべり止めの効果は激減します。

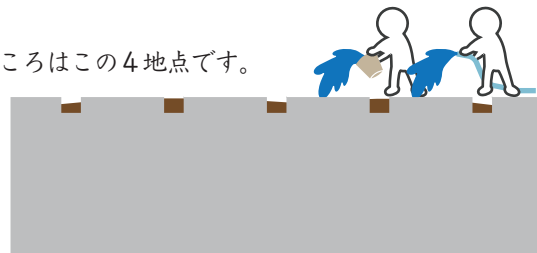
溝埋め現象は、牛がいるところでは起きません。糞尿が湿っているからです。

乾燥した糞による溝埋め現象が起らないように、水をまく必要があります。

溝の中の糞が十分に柔らかくなれば、溝の滑り止め効果は復活します。

特に溝埋め現象が起りやすいところはこの4地点です。

1. パーラーへの移動通路
2. 換気牛舎の風上側
3. オートスクレーパの出発地点
4. 牛の密度の低い場所



## 3 複数の牛を同時に同期化の際はご注意ください。

繁殖治療において、エストラジオール製剤(オバホルモン等)を使用は一般的に利用されています。

複数の牛を同時に同期化し、一度に繁殖活動を行うケースも多くみられます。

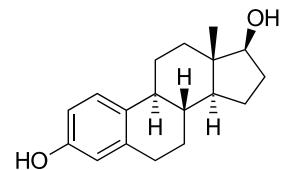
しかし、発情兆候を強くすることで発情発見率が上がるメリットがある一方で、

兆候が強まり過ぎて、乗駕行動が激しくなる傾向があります。

よって股裂きなどの運動器障害につながり、廃用のリスクが高まります。

どんなに良い牛舎通路の床面でも、強いホルモン剤で多数の牛に一気に同期化した場合、

転倒事故は起こります。床面の問題とは別の問題です。ご注意ください。



転倒による廃用を削減する一方で、蹄の磨耗は切り離せません。

皆様にご迷惑をおかけ致しますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

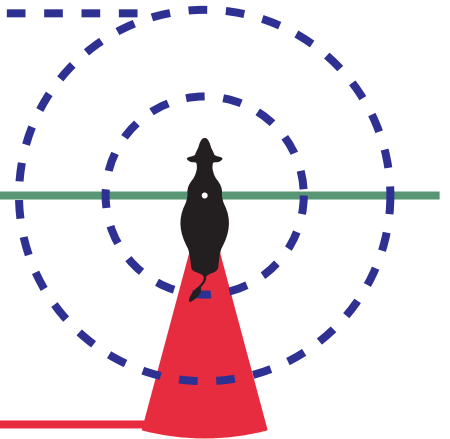


©COWHAPPY

# 上手な牛追いとは？

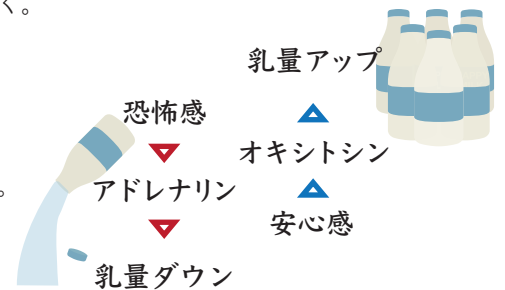
フライトゾーン：人が侵入すると牛が逃走を開始する境目  
10mで逃げる牛もいれば、1mの牛もいる。個体差が有る。  
上手な牛追いはフライトゾーンの境目以上に牛に近づかない。

バランスポイント：牛の前足の付け根の位置と覚えよう。(き甲部)  
この線よりも前から近づく→牛は後ろに下がる。  
後ろから近づく→牛は前に進む。  
上手な牛追いは時速2km/時で追う。牛は人よりもゆっくり歩く動物です。



牛の死角：後方30°  
死角から急接近や声かけはしてはいけない。  
上手な牛追いは離れた位置から小音(シーシー)を出して、牛に知らせながら近づく。

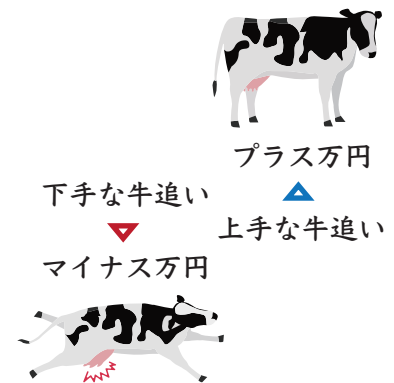
オキシトシン：乳頭を張らせるプラスのホルモン  
アドレナリン：乳の出を悪くするマイナスのホルモン  
牛にとって不快なこと(痛み・緊張・恐怖)があるとアドレナリンは生成されます。  
上手な牛追いは乳量減少のアドレナリンを出させない安心感を与える距離感です。



大声：牛追いに平常時は不必要  
牛は肉食動物からの生命を守るために、近づくものに恐怖を感じる生き物です。  
大きい音を出して、急激に近づくことで牛はパニックになり不快に感じます。最悪の場合は転倒します。  
遠くから小さい音(シーシーなど)を出しながら、ゆっくり近づくことで、大半の牛は逃げていきます。  
牛のフライトゾーンの線の中に、極力入らないように小さい声で追いましょう。

接近：最後の手段  
気づいても起き上がらない牛が稀にいます。  
その場合のみ近づき、バランスポイントを意識しながら追いましょう。

起きる動作がゆっくりな牛、シビれて早く立てない牛、病のため早く歩けない牛、  
牛が転ぶとマイナス数万円です。廃用になればマイナス数十万円です。  
作業の効率を考えて牛追いを急ぐことは、経営的非効率です。



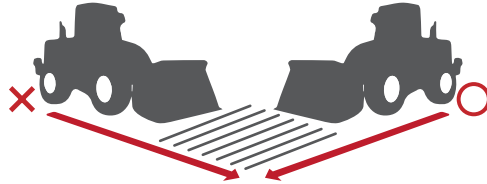
まずは1週間新しい牛追いをチャレンジ、乳量の変化を確認しましょう。きっとプラスに転じます。  
ゆっくり追うことは、牛の生産寿命を伸ばします。乳量が増えます。



# こんな時どうするか？

## 溝の上を徐糞する時どうするか？

溝と同じ方向にバケットを動かして徐糞してください。溝の寿命が長くなります。



## 溝の寿命をより長くするためにはどうするか？

タイヤバケットでの徐糞をお勧めしています。鉄バケットに比べて溝の寿命が長くなります。

## もしも蹄の過剰磨耗で痛がる牛が現れたらどうするか？

柔らかい敷料を敷いた場所へ移動させてください。

複数頭で発生した場合は、牛追い改善。削蹄の厚み改善。ペンに柔らかい敷料を入れてください。



## もしもスリップ事故が相次いたらどうするか？

溝に固まった糞が詰まっていないかを確認。水をかけてください。復活します。

必要を感じた際は、高圧洗浄機を用いて固着を落としてください。



## それでもスリップ事故が相次いたらどうするか？

溝が寿命を迎えているかもしれません。再施工をご検討ください。

溝の寿命はコンクリートそのものの強度によって変わります。

